

経営発達支援計画

2023年度 評価会議結果について

1. 日 時：2023年6月26日（月）10：00～12：00
2. 場 所：浜松商工会議所 4階特別会議室
3. 出席者：委員長 鈴木宣二（静岡県中小企業診断士協会会長）
委員 中出泰夫（静岡県信用保証協会常務理事）
秋田 聡（東海税理士会浜松西支部長）
伊藤 忠（東海税理士会浜松東支部長）
4. 評価の目的：2022年度に実施した経営発達支援計画の事業実施・成果について評価を行い、見直し案等の提示を行なうことで支援計画の改善につなげる。
5. 評価の手法：各評価事項における定量及び定性的観点から4段階で評価する。
6. 評価の反映：委員からの提言をもとに改善案を検討し、2023年度の事業実施計画等に反映させる。
7. 主な指標（2022年度実施結果）

大項目	実施内容	目標	実績
1. 地域の経済動向調査に関すること	中小企業景気動向調査（天気図版）	年4回	年4回
	浜松地域の経済動向	月1回	月1回
	「商工振興委員」による情報収集	月1回	月1回
	「ブロック巡回」による情報収集	月1回	月1回
2. 経営状況の分析に関すること	セミナー開催	5回	22回
	経営分析実施件数	306件	411件
	経営指導員等一人当たり実施件数 ※15名で算出	20件	27件
3. 事業計画策定支援に関すること	事業計画策定事業者数	210件	370件
	経営指導員等一人あたり件数 ※15名で算出	14件	25件
4. 事業計画策定後の実施支援に関すること	フォローアップ対象事業者数	210件	831件
	頻度（延べ回数）	840件	1,714件
	売上増加事業者数	90社	112社
	営業利益額増加事業者数	80社	73社
5. 需要動向調査に関すること	農業現場における需要動向調査	5社	5社
	商談会等の企画を通じた需要調査	7社	109社
6. 新たな需要の開拓に寄与する事業に関すること	新技術・新工法展示商談会の開催 [技術マッチング]	3社 成約1件	9社 成約1件
	浜松版「ものづくりパートナー紹介サービス」の実施	5社 成約1件	10社 成約2件
	商談会参加事業（BtoB）	7社 成約1件	52社 成約6件
	催事出店事業（BtoB）	8社 成約1件	57社 成約1件
	アライアンスパートナー発掘市（BtoB）	18社 成約1件	16社 成約1件
	販売促進に繋げるIT活用支援	15名	15名

2023年度 浜松商工会議所経営発達支援計画評価結果

分類	項目	総合評価	委員コメント
経営発達支援事業の内容	1.地域の経済動向調査に関する事	A	<ul style="list-style-type: none"> ・調査結果がわかりやすくなった。（鈴木委員長） ・景気ウォッチャー調査の名称は親しみが持てる。経済動向をHPなどで積極的に公開している。（中出委員） ・今後は収集したデータをどう生かすかも考えてもらいたい。（秋田委員）
	2.経営状況の分析に関する事	A	<ul style="list-style-type: none"> ・オリジナルの事業計画策定シートは企業にとって役立つと思う。（中出委員） ・SNSの活用も進んでいる。地域経済のハブとしての機能もあると思う。（秋田委員） ・補助金申請支援は会員にも重宝されている。（伊藤委員）
	3.事業計画策定支援に関する事	A	<ul style="list-style-type: none"> ・テンミニッツシートはよく活用されている。（鈴木委員長） ・各種補助金の採択率が70%超と高く、実効性も出ている。セミナーの回数も目標を大きく上回っている。（中出委員） ・専門家とつなぐ役割ができており、頼もしい存在になっていると思う。（秋田委員） ・セミナーのアーカイブは良いと思う。（伊藤委員）
	4.事業計画策定後の実施支援に関する事	A	<ul style="list-style-type: none"> ・補助金の不採択企業へのサポートも充実して欲しい。（鈴木委員長） ・計画が順調ではない事業者へのフォローを大幅に増やしており、計画策定後の支援が充実していると思う。（中出委員） ・経営の伴走者として頑張ってもらいたい。（秋田委員） ・youtubeを利用した広報は若い世代に訴求しやすいと思う。（伊藤委員）
	5.需要動向調査に関する事	A	<ul style="list-style-type: none"> ・農業のIoT化は時代の流れに沿っている。（鈴木委員長） ・事業者にとって需要動向調査は最大の関心事である。さらなる成果に結びつくように期待している。（中出委員） ・事業者に必要な需要動向に対する場を提供できている。（秋田委員）
	6.新たな需要の開拓に寄与する事業に関する事	A	<ul style="list-style-type: none"> ・ビジネスマッチングなどによる販路開拓は成約が難しいと思うが、成果が出ており評価ができる。（中出委員） ・今後はオンライン（DX化）を図ることで、生産性向上を図れると思う。（秋田委員） ・新しい試みであり、効果が表れている。（伊藤委員）
地域活性	7.地域経済の活性化に資する取組	B	<ul style="list-style-type: none"> ・中小企業において人材は不足している。インターンシップなども含めて支援を充実して欲しい。（鈴木委員長） ・恒常的な中心市街地の賑わい創出は、難しい面があるが、好循環に繋がる取り組みをして欲しい。（中出委員） ・Iターンと同様Uターンの人材ももっと増えていくと良い。（伊藤委員）
支援力向上	8.他の支援機関との連携を通じた支援ノウハウ等の情報交換に関する事	B	<ul style="list-style-type: none"> ・よろず支援拠点とも連携していて良い。（鈴木委員長） ・支援ノウハウ等の情報交換は適切に実施できている。（中出委員） ・今後も十分に連携を図って欲しい。（秋田委員）
	9.経営指導員等の支援力の向上の仕組み	A	<ul style="list-style-type: none"> ・人材育成とノウハウの伝承が各事業推進の肝となる。引き続き資質向上を図って欲しい。（中出委員） ・会員支援のためのノウハウを蓄積して欲しい。（秋田委員） ・現場での実践が最もノウハウは身に着くと思う。（伊藤委員）
	10.支援ノウハウ等を組織内で共有する体制	A	<ul style="list-style-type: none"> ・商工会議所の様々な取り組みを広く知ってもらうことで、事業者の安心感、事業計画策定の重要性への気づき、地域の元気につながっていくと思う。（中出委員）

A：目標を達成することができた（100%以上） B：目標を概ね達成することができた（80～99%）

C：目標を半分程度しか達成することができなかった（30～70%） D：目標をほとんど達成することができなかった

（30%未満）